

山形県地域密着型サービス外部評価結果報告書

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

※自己評価項目番号26 馴染みながらのサービス利用
自己評価項目番号39 事業所の多機能性を活かした支援
については、小規模多機能型居宅介護事業所についてのみ記入

事業所番号	670400340
法人名	社会福祉法人 米沢弘和会
事業所名	サンプラザ米沢 グループホームさんさん
訪問調査日	平成 19 年 7 月 12 日
評価確定日	平成 19 年 9 月 7 日
評価機関名	山形県国民健康保険団体連合会

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年8月29日

【評価実施概要】

事業所番号	670400340
法人名	社会福祉法人 米沢弘和会
事業所名	サンプラザ米沢 グループホームさんさん
所在地 (電話番号)	米沢市大字築沢3470番地 (電話) 0238-32-2282

評価機関名	山形県国民健康保険団体連合会		
所在地	山形県山形市松波四丁目1番15号		
訪問調査日	平成19年7月12日	評価確定日	平成19年9月7日

【情報提供票より】(平成19年6月8日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成9年7月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤 8 人, 非常勤	人, 常勤換算 7 人

(2) 建物概要

建物形態	併設／○単独	新築／○改築
建物構造	木造	造り
	2階建ての	階 ~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	7,500 円	その他の経費(月額)	250/日 円
敷金	有(円) ○無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) ○無	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	300 円	昼食 300 円
	夕食	300 円	おやつ 200 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(6月8日現在)

利用者人数	9 名	男性	0 名	女性	9 名	
要介護1	1 名	要介護2	3 名			
要介護3	5 名	要介護4	名			
要介護5	名	要支援2	名			
年齢	平均	84.8 歳	最低	82 歳	最高	91 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	三友堂病院	平井医院
---------	-------	------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

一般住宅を改修した造りのホームは、高齢者でも生活しやすいように工夫されており、家庭的な雰囲気の中で利用者の人格の尊重と生活の継続性に配慮した支援が行われています。
また、すぐ隣にある小学校の子供たちや地域の方々との活発な交流、法人施設の確かな連携ネットワーク、ホーム職員のきめ細やかな気配りと目配りなどに支えられながら、安心できる生活を穏やかに送ることができるホームです。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 経費上の問題と休憩時間の兼ね合いから、職員と利用者が食事を一緒に食べていない状況もみられた点については、職員も利用者と一緒に食事をしながら、必要な支援を行えるよう取り組まれている。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議では、今年度の取り組みの説明、利用者やサービス提供の実際などに関する報告が利用者のプライバシーにも配慮した形で行われている。また、移動売店やボランティアの受け入れの検討や実施もなされている。
重点項目	③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 法人、ホームの苦情窓口の掲示、意見箱の設置、国保連の苦情窓口の周知も行われている。また、運営推進会議や面会時に家族への声かけも行われている。
重点項目	④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 法人全体で地域との関わりが持てるよう組織作りが行われており、ホームもその一員となっている。また、隣組にも入っており、会議や各種行事、クリーン作戦への参加など、地域での役割も担いながら交流が行われている。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
		○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	運営の基本方針として、従来から地域の中での生活を指しており、「一人ひとりの命を尊重し安らぎのある人生が送れるよう支えあう」を理念とし支援が行われている。		
		○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホーム内に理念を掲示し、毎日の朝礼時にも確認して実践に向けて取り組んでいる。また、「明るい笑顔、すばやい対応、誰にでも公平に、結ぼう人の輪、心の和」を実践行動目標にかかげて取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
		○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	法人全体で地域との関わりが持てるよう組織作りが行われており、ホームもその一員となっている。また、隣組にも入っており、会議や各種行事、クリーン作戦への参加など、地域での役割も担いながら交流が行われている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
		○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	ホーム便りの発行、隣組への入会による地域交流の促進などの前回評価結果への取り組み、また、今回の自己評価を職員全員で実施することにより、評価の意義が管理者と職員に理解されている。		
		○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、今年度の取り組みの説明、利用者やサービス提供の実際などに関する報告が利用者のプライバシーにも配慮した形で行われている。また、移動売店やボランティアの受け入れの検討や実施もなされている。		

山形県 サンプラザ米沢 グループホームさんさん

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	現在、市との連携は特に無く、一方的な連絡にとどまっている。	○	市との連携について、事業所、行政とも、具体的な連携内容が見えてこない状況にあるため、今後、運営推進会議の場などでも連携のあり方について検討がなされ、サービスの向上に活かされることが期待される。
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族面会時の報告やホーム便りで利用者の暮らしぶりの報告と受診・往診時の電話報告が行われ、また、物品を購入した際の金銭出納帳への記録もなされているが、家族への報告の面での不足がみられる。	○	家族に具体的に金銭管理の状況を提示し、その内容を確認してもらうことにより、報告をより正確なものとしていく取り組みが期待される。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	法人、ホームの苦情窓口の掲示、意見箱の設置、国保連の苦情窓口の周知も行われている。また、運営推進会議や面会時に家族への声かけも行われている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの職員による支援が受けられるように配置異動を行い、職員が交代する場合でも、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動がある場合は一週間前に職員を配置し、引き継ぎや利用者との交流を通してスムーズに移行できるよう配慮されている。また、異動してくる職員は認知症の研修を受け、きちんとした対応ができるようにしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人全体としてスキルアップ研修を実施、職員個別の研修状況を把握し必要な研修に参加している。また、職員会議で研修会・外部研修参加の報告も実施している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域のグループホーム連絡協議会に参加し、交換研修を行いサービスの質の向上に取り組んでおり、終末期のケアをテーマとした意見交換も予定されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	【小規模多機能型居宅介護のみ】 ○馴染みながらのサービス 利用本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(小規模多機能型居宅介護のみの調査項目)		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	雑巾作りや笹巻き作り、畑仕事、調理の味付けなど、その人の得意なものを引き出し、職員も学びながら共に過ごせる環境づくりをしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	家族から話を聞いたり、日々の会話の中で思いや希望を聞き出し、記録と申し送りをして職員全員が把握できるよう努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、家族、関係者、職員から話を聞き、一緒に課題を明らかにして介護計画が作成されている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	現状に即した介護計画の見直しが行われており、ケース会議、ケアプラン会議で評価や見直しが行われ、家族とも話し合いながらその内容を介護計画に反映している。また、状態が落ち着いている利用者についても実施されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	【小規模多機能型居宅介護のみ】 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、 事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をして いる	(小規模多機能型居宅介護のみの調査項目)		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、かかりつけ医 と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受け られるように支援している	入居時に本人、家族と話し合い、受診する医療機関を 決めている。また、個人の協力医療機関は毎月の往 診、緊急時、夜間の対応も可能となっており、いつも 相談できる体制ができています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、でき るだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかり つけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有 している	家族との話し合いによる入居時の意向確認、かかりつ け医や関係者との相談による対応がなされている。ま た、併設されている老人保健施設との連携も十分に図 られている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言 葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをして いない	「職員基本用語」が掲示され、利用者の誇りやプライバ シーを損ねることのないよう日常的に確認が行われて いる。また、個人情報については、職員から誓約書を提 出してもらい秘密保持の徹底を図っている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一 人ひとりのペースを大切に、その日をどのように 過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者が自己決定できるよう言葉かけを行っている。ま た、一人ひとりの生活リズムや生活習慣を尊重し、生活 の継続性にも配慮した支援が行われている。		

山形県 サンプラザ米沢 グループホームさんさん

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	地域の方からいただく旬の食材、畑から一緒に収穫した野菜などを、会話を交えながら利用者に準備、盛り付け、片付けに参加してもらっている。また、一緒に食事をしながら必要な支援が行われている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望に沿った支援が行われている。嫌がる利用者には無理強いせず、清潔が確保できるように声がけや支援を行っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	畑づくりや家事手伝い、刺し子や雑巾作りなど、その人にあった役割、仕事をお願いしている。また、散歩やドライブ、外出など気晴らしの支援も行われている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物や散歩、花見や紅葉見学など季節を楽しめる外出が行われている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、環境や利用者の状態を考慮しながら鍵をかけないで安全に過ごせるような工夫に取り組んでいる。	鍵をかけることの弊害を職員が理解し、施錠をせずに気配り目配りなど職員が関わることで支援している。また、玄関にはセンサーを取り付け、危険がないよう配慮している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防火訓練は年2回、近隣施設と合同で実施し、連携が図れるようにしている。また、災害時の地域の消防団の協力について話し合いを行っている。		

山形県 サンプラザ米沢 グループホームさんさん

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量の確認をしており、食欲のない利用者にはお茶の時間に好みのものを提供したり、必要に応じて医師に相談し対応している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間の中にも、それぞれで過ごせるようテーブルや椅子が配置してある。また、懐かしい茶筆筒や堀こたつなど、家庭的な雰囲気づくりも行われている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族の協力を得ながら馴染みの家具などを配置し、居心地よく過ごせるよう配慮している。		